

2017 JUA/AUA Resident Program 参加報告

大塚 真史 (千葉県がんセンター)

この度、AUA/JUA resident program による派遣として米国 Boston で開催された米国泌尿器科学会 (AUA) 2017 に参加させていただきました。今回のプログラムでは、学会期間中の宿泊費と registration 費用を学会に援助して頂いただけではなく、AUA resident bowl や Presidents Reception などのイベントに参加する貴重な機会も頂く事ができました。今回初めて AUA に参加し、まず驚いたのは、規模の大きさでした。会場の広さはもちろん、世界中から泌尿器科医が集まり、様々な事を討論しあい、情報交換を行っている様子はとても刺激的でした。現在勤務している病院ではロボット手術を盛んに行っているため、ロボット手術のセッションに多数参加したのですが、参加人数が多く、海外でもやはり関心が高いのだなと感じました。本邦では開腹などで行っている手術もロボットで行っており、とても興味深く聞かせて頂きました。また、今回参加した resident bowl も、貴重な経験となりました。この大会は、全米のそれぞれの地域で大会を勝ち抜き選出された resident 達がチームを組み泌尿器科の知識を競うものです。今回我々は Mid-Atlantic の一員として参加しました。問題は学問的な問題から、AUA に最初に所属した女性医師の名前など雑学的な内容まで幅広い分野から出題されました。会場の人達にも答えを聞くオーディエンス問題があるなどエンターテイメントの要素もあり、大会参加者の上司や同僚達からの声援も多く聞こえるなどとても白熱した大会でした。自分のチームは1回戦を突破したものの続く準決勝で接戦の末、惜しくも敗退してしまいました。AUA residents reception では世界各国を代表する先生方の集まる会の中に参加させて頂き、とても貴重な経験をさせて頂きました。現在、私は千葉県がんセンターに勤務し、臨床に取り組んでいます。今後は、AUA で得た経験を糧にして、臨床に関して更なる努力を重ねていきたいと感じました。引き続き精進を重ね、泌尿器科学の発展に少しでも貢献できたらと思います。

最後になりますが、このような機会を与えてくださった AUA/JUA 両学会の関係者の皆様、ならびにご推薦頂いた千葉県がんセンター 植田健先生、東京大学泌尿器科学 本間之夫教授、滞在中に lunch にご招待いただき



写真1 左から 早稲田先生 (東京医科歯科大学) resident bowl Mid-Atlantic team 大塚



写真2 左から 大塚 Mentor の Dr. Chad Ritenour 早稲田先生 (東京医科歯科大学)

た Mentor の Emory University of Hospital, Dr. Chad Ritenour, 同プログラムに参加した早稲田悠馬先生 (東京医科歯科大学), その他多くの先生方にこの場をお借りして心より深謝申し上げます。今後も多くの先生方がこのプログラムを活用して、少しでも AUA/JUA 両学会の発展の一助になることを強く祈念致します。